

## 光駅周辺地区拠点整備基本構想の策定に向けた「光駅利用者アンケート調査」結果の概要

### 【光駅への来訪状況】

- 光駅の利用者にアンケート配布をしているため、「ほぼ毎日」、「休日を除くほぼ毎日」が多くなりましたが、「月に数回程度」、「年数回程度」の人も一定程度見られました。
- 出入口の別では、居住地区で大きな違いがあり、虹ヶ丘団地がある西部地域の居住者は「北口」利用が多くなっています。一方で、その他の居住地や、西部地域の概ね4割の居住者は「南口」を利用しています。  
⇒今後、光総合病院の移転により、「通院」に伴う移動は「北口」の割合が増えていくことも考えられます。
- 北口には徒歩でのアクセス、南口には自動車（自分で運転）でのアクセスが多くなっています。送迎（家族等の運転）には大きな割合の違いは見られませんでした。
- 利用目的では、「通勤・通学」が最も多く、次いで「旅行・レジャー」が多くなっています。一方、「買い物・飲食」は少なくなっています。  
⇒市民アンケートでは「光駅周辺地区」への来訪目的として「買い物・飲食」、移動手段として「自動車」となっていました。

### 【目的地までの利用パターンと目的先】

- 市内居住の場合、出発地から光駅までは電車を「利用しない」、光駅から目的地までは電車を「利用する」傾向が、反対に市外居住の場合、出発地から光駅までは電車を「利用する」、光駅から目的地までは電車を「利用しない」傾向があります。
- 出発地から光駅、光駅から目的地までのいずれも、電車を「利用しない」場合、「徒歩」や「自転車」の利用が多くなっています。
- 若い世代も含めて、市外（特に、同じ周南圏域にある周南市、下松市）への流出が多い状況がうかがえます。
- 市内を目的地とする場合、「西部地域」、「南部地域」が目的地となる場合が多くなっています。

### 【満足度、重要度、ニーズ度】

- 満足度と重要度及び自由意見記述から、「利便施設」や「送迎用の自動車の停車スペース」をはじめ、「駅の南北をつなぐ橋」、「まちの玄関としての個性・魅力」は、今後の整備が求められている（満足度が低く、重要度が高い＝ニーズ度が高い）ことがうかがえます。
- 「駐車場」や「駐輪場」については今後も維持・充実が求められていることがうかがえます。

### 【今後必要と思われる機能】

- 「商業機能」や「公共交通機能」が特に求められていることがうかがえます。
- 市民アンケートとは異なり「行政機能」も多くなりました。光駅と光市役所は距離が離れていることから、光駅が日常生活の動線上にある人は駅周辺に行政機能を求めていることがうかがえます。
- また、市民アンケートと同様に、「地域交流行事」や「観光交流イベント」、「イベント企画制度」など、ソフト事業に関する意見が少なく、現状では基本的にハード事業に優先して取り組むことが求められていることがうかがえます。